



全国 1 位に輝いた登別温泉街



「はるちゃん効果」などで入り込みが好調な登別温泉

光のしずく きらきらマチに

～ JR 登別駅前にモニュメント～

12月15日(日)、登別駅前にモニュメントが設置されました。このモニュメントは、地元の商店会や飲食店組合、婦人会、青年会で組織する登別まちづくり促進期成会が花のない冬のまちに彩りとぬくもりをと毎年設置しているものです。

4回目となる今年のテーマは、知里幸恵の生誕 100 年を記念し、アイヌ神謡集の有名なくんだり「銀の滴降る降るまわりに」をモチーフにした『光のしずく きらきら マチに』。今年いっぱい設置される予定で、2月中旬まではイルミネーションが点灯しています。

同会会員の久住祐子さんは「登別温泉の入口を少しでも明るくして、観光客を温かく迎えたかった」と話していました。



～ 『第16回にっぽんの温泉100選』～

12月に発表された『第16回にっぽんの温泉 100 選』（観光経済新聞社主催）で、登別温泉が全国の温泉地の中から 1 位に選ばれました。

この 100 選は、全国の旅行会社や運送会社の観光担当者の投票で選考されるもので、今年で16回目。

登別温泉のこれまでの最高位は 2 位（昨年は 3 位）でしたが、今回の選考では交通アクセスの良さや泉質、温泉情緒などが高く評価され、晴れて 1 位になったものです。

登別温泉は、景気低迷のあおりを受けて、今年度上期（4月～9月）の観光客入り込みが、対前年同期を 0.8 割下回るなど苦戦を強いられてきましたが、積極的な宣伝活動の効果やテーマパークの魅力に加え、連続テレビドラマ『はるちゃん6』の舞台として全国放送され話題を呼んだこともあり、入り込み数は今年の夏から徐々に回復してきています。

年末年始には、道内外からの観光客でホテル・旅館はほぼ満館状態とにぎわいをみせました。

登別温泉が 温泉の全国 1 位に！

推進します はあもにいプラン21

～ 男女共同参画社会づくり推進会議～

12月19日(木)、第 1 回男女共同参画社会づくり推進会議が市役所で開催されました。

この会議は、広範な市民参画のもと昨年 9 月に策定

した『登別市男女共同参画基本計画』（愛称『のぼりべつ・はあもにいプラン21』）の推進にあたり、市民の意見の反映や事業の進行管理などのため設けられた組織で、各種団体からの推薦や公募で選ばれた 20 人で構成。

第 1 回目となるこの日の会議では、平成 15 年度の事業や会の運営方法などが話し合われました。今後は、男女共同参画への共通理解を図るため、委員を対象とした学習会などを開催していく予定です。

